

《プレスリリース》

10月17日(予選シリーズ初日)

470 級男女で日本勢が好発進

雨天、微風で始まったセーリング W 杯

昨日から降り続く雨の中、日本初開催となる「セーリングワールドカップ 愛知・蒲郡大会」のレースが始まりました。風が弱く予定より約 1 時間半遅れのスタートとなりましたが、男女合わせて計 8 種目すべてでレースが行われ、日本選手団は 470 級男子の第 1 レースで磯崎/高柳組がトップフィニッシュするなど、幸先の良いスタートを切りました。



左) 参加艇が最も多いレーザー級 右) 出産を経て復帰第一戦の臨む 470 級女子の吉田選手(右)と吉岡選手

Sailing's World Cup Series Gamagori © JUNICHI HIRAI/BULKHEAD magazine JAPAN

【470 級男子】

全種目の中で最も風に恵まれたのが、一番沖のエリアで行われた 470 級です。第 1 レースは磯崎哲也/高柳彬組がトップフィニッシュしました。初日は 2 レースが行われ、「軽風の難しいコンディションでしたが、しっかりまとめることができました」という磯崎/高柳組が 2 位。暫定トップに立ったのはリオ五輪銀メダリスト、オーストラリアの Belcher/Ryan 組です。3 位には今村亮/外園潤平組、4 位に高山大智/今村公彦組、6 位に土居一斗/木村直矢組と日本勢が続いています。

【470 級女子】

リオ五輪後、約 1 年ぶりのレース出場となったのが吉田愛/吉岡美帆組です。スキッパーの吉田はこのレースが出産後の復帰第一戦。久しぶりのレースでスタートに苦労していましたが、レース終盤にかけて順位を上げる堅実な走りはさすが実力者です。2 レースを終えた順位は 4 位。暫定トップは世界チャンピオン、ポーランドの Skrzypulec/Mrózek Gliszczynska 組です。

【49er 級男子】

日本から古谷信玄/八山慎司組と高橋稜/小泉維吹組の 2 組が出場している 49er 級は、軽風のため 1 レースしか実施されませんでした。古谷/八山組は 11 位、高橋/小泉組は 19 位です。

【49erFX 級女子】

49erFX 級は 3 レースを消化し、ヨーロッパチャンピオンであるフランスの Sebesi/Dubois 組が暫定トップ、原田小夜子/永松瀬羅組が 2 位、波多江慶/板倉広佳組が 3 位につけています。

【レーザー級男子】

一人乗り種目のレーザー級は、今大会で最も多い 50 艇が参加しています。オーストラリアの Tom Burton (リオ五輪金メダリスト)、キプロスの Pavlos Kontides (2017 年世界チャンピオン)、イギリスの Nick Thompson (2017 年ヨーロッパチャンピオン) が顔を揃える激戦種目でもあります。2 レースを終えた暫定トップは、イギリスの Lorenzo Brando Chiavarini。キプロスの Kontides が 2 位、オーストラリアの Burton は 4 位、イギリスの Thompson は 18 位と少し出遅れました。「お天気はイマイチですしたが、今大会は 2017-2018 年ワールドカップシリーズの初戦なので、次へと続く良いレースをしたいです」と Burton は意気込みを語っています。

【レーザーラジアル級女子】

レーザーラジアル級は 2 レース実施されましたが、風が弱く 2 レース目は途中で中止となりました。1 レースを終えた時点の暫定トップはデンマークの Anne-Marie Rindom、リオ五輪の銅メダリストです。軽風を得意とする多田桃子が 9 位につけています。

【RS:X 級男子】

初日 2 レース行われたウインドサーフィン種目の RS:X 級男子は、スイスの Mateo Sanz Lanz が 2 レースともに 1 位でフィニッシュし暫定トップに位置しています。先月、江の島（神奈川県藤沢市）で開催された世界選手権大会で優勝した中国の Bing Ye は 2 位。「世界の強豪選手たちが日本の海で走っているの、自分たちも良い走りをして大会を盛り上げていきたいです」と話す富澤慎は 6 位です。

【RS:X 級女子】

女子は先の世界選手権大会でも活躍した小嶺恵美が、2 レースを消化し 2 位と好調な滑り出しです。得意な軽風コンディションでコンスタントに上位を走りました。同じく軽風を得意とする香港、中国勢が上位を占めています。

【レース 1 日の日本人選手の成績】

●470 級男子（参加 24 艇 12 カ国）

- 2 位：磯崎 哲也（エス・ピー・ネットワーク）/高柳 彬（日本経済大学）
3 位：今村 亮（一宮開発グループ）/外薮 潤平（JR 九州）
4 位：高山 大智（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）/今村 公彦（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）
6 位：土居 一斗（アビームコンサルティング）/木村 直矢（アビームコンサルティング/日本大学）
12 位：市野 直毅（所属なし）/長谷川 孝（横浜ゴム）
14 位：神木 聖（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）/疋田 大晟（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）
21 位：河合 龍太郎（三井住友海上火災保険）/中澤 太郎（三井住友海上火災保険）
24 位：小泉 颯作（トヨタ自動車東日本）/野田 友哉（日本経済大学）

●470 級女子（参加 14 艇 7 カ国）

- 4 位：吉田 愛（ベネッセホールディングス）/吉岡 美帆（ベネッセホールディングス）
7 位：林 優季（明海大学職員）/西代 周（明海大学職員）
10 位：山本 佑莉（鳥取県セーリング連盟）/斎藤 由莉（早稲田大学）
14 位：宇田川 真乃（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）/関 友里恵（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）

●49er 級男子（参加 20 艇 11 カ国）

- 11 位：古谷 信玄（エス・ピー・ネットワーク）/八山 慎司（エス・ピー・ネットワーク）
19 位：高橋 稜（オークランド大学）/小泉 維吹（早稲田大学）

●49erFX 級女子（参加 9 艇 5 カ国）

- 2 位：原田 小夜子（豊田自動織機）/永松 瀬羅（豊田自動織機）
3 位：波多江 慶（豊田自動織機）/板倉 広佳（豊田自動織機）
9 位：山崎 アンナ（ノエビア/日本体育大学） 高野 芹奈（ノエビア/関西大学）

●レーザー級男子（参加 50 艇 23 カ国）

- 33 位：瀬川 和正（鳥取県立米子産業体育館）
40 位：南里 研二（三重県体育協会事務局）
42 位：樋口 碧（神奈川県セーリング連盟/エニタイムフィットネス関内）
48 位：北村 勇一郎（関東学院大学）

●レーザーラジアル級女子（参加 35 艇 21 カ国）

- 9 位：多田 桃子（三重トヨタ自動車）
20 位：富部 柚三子（福井県体育協会）

●RS:X 級男子(参加 19 艇 9 カ国)

6 位：富澤 慎（トヨタ自動車東日本）

10 位：池田 健星（明治大学・KAYA）

17 位：尾川 潤（島精機製作所）

18 位：倉持 大也（福井県体育協会）

19 位：福村 拓也（豊田自動織機）

●RS:X 級女子（参加 13 艇 6 カ国）

2 位：小嶺 恵美（一宮開発グループ/ジェイウィルコーポレーション）

8 位：大西 富士子（ホマレ電池）

9 位：須長 由季（ミキハウス）

10 位：伊勢田 愛（福井県体育協会）

13 位：松浦 花咲実（大阪学院高等学校）

15 位：山辺 美希（サガミ）

【成績表】

<http://sailing.org/worldcup/results/index.php>

【レースライブ航跡図】

レース艇は全艇 GPS を搭載しており、ライブ航跡図は以下でご覧いただけます。

<https://wcs2018-gamagori.sapsailing.com/>

【報道記事用の公式写真】

高解像度のエディトリアルフリー（報道記事用の無料写真）写真は以下からダウンロードしてお使いいただけます。パスワードは **WSimages** です。

<https://worldsailing.photoshelter.com/gallery-collection/WCS-Gamagori-2017/C0000B8AxwR4QL6U>.

【テレビ放送用公式映像】

テレビ放送用の公式映像は 19 日（木）～22 日（日）に提供可能です。素材の提供はクラウド経由で行います。レース画像、選手インタビューなどのリクエストには下記までお問い合わせください。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

セーリング ワールドカップ 愛知・蒲郡大会 プレス担当：西 朝子(にし ともこ)

Tel: 090-1042-9262 Email: press@swc-jsaf.org

<http://swc-gamagori.jp/>

<http://www.sailing.org/worldcup/>